

2022年度実施(2023年度入試)調査票

I 全日制高校について

		A.外国人生徒	B.中国・サハリン帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2022年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択		有	無	有
2-1.2023年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記		○	○	○
2-1の名称		学力検査における帰国生徒等の特例措置	学力検査における帰国生徒等の特例措置	学力検査における帰国生徒等の特例措置
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
2-2.滞日年数制限		中学校等又はこれに準ずる学校に編入学した者	帰国後小学校4年以上の学年に編入学した者	海外の日本人学校又は補習授業校のない地に引き続き3年以上在留し、かつ令和3年4月1日以降に帰国した者
2-3.措置の内容		学力検査時間の延長, 学力検査問題の漢字のふり仮名	学力検査時間の延長, 学力検査問題の漢字のふり仮名	学力検査時間の延長, 学力検査問題の漢字のふり仮名
2-4.2022年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		有	無	無
3-1.2023年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		○	○	○
3-1の名称		帰国生徒等特別入学者選抜	帰国生徒等特別入学者選抜	帰国生徒等特別入学者選抜
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
3-2.滞日年数制限		外国における在留期間が継続して3年以上で、帰国又は来日後3年以内である	外国における在留期間が継続して3年以上で、帰国又は来日後3年以内である	外国における在留期間が継続して3年以上で、帰国又は来日後3年以内である
3-3.入学枠のある学校数/全学校数		67校/全校68校	67校/全校68校	67校/全校68校
3-4.学校名		学校名はホームページにて公表	学校名はホームページにて公表	学校名はホームページにて公表
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)	若干名	若干名	若干名
	②定員外(枠外)			
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択		×	×	×
3-7.試験内容		面接と作文	面接と作文	面接と作文
3-8.2022年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		有	無	無
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2022年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入				

II 定時制高校について

	D.外国人生徒	E.中国・サハリン帰国生徒	F.海外帰国生徒
1.2022年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	無	無	無
2-1.2023年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	○	○	○
2-1の名称	学力検査における帰国生徒等の特例措置	学力検査における帰国生徒等の特例措置	学力検査における帰国生徒等の特例措置
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限	中学校等又はこれに準ずる学校に編入学した者	帰国後小学校4年以上の学年に編入学した者	海外の日本人学校又は補習授業校のない地に引き続き3年以上在留し、かつ令和3年4月1日以降に帰国した者
2-3.措置の内容	学力検査時間の延長、学力検査問題の漢字のふり仮名	学力検査時間の延長、学力検査問題の漢字のふり仮名	学力検査時間の延長、学力検査問題の漢字のふり仮名
2-4.2022年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択	無	無	無
3-1.2023年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学者の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	○	○	○
3-1の名称	帰国生徒等特別入学者選抜	帰国生徒等特別入学者選抜	帰国生徒等特別入学者選抜
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限	外国における在留期間が継続して3年以上で、帰国又は来日後3年以内である	外国における在留期間が継続して3年以上で、帰国又は来日後3年以内である	外国における在留期間が継続して3年以上で、帰国又は来日後3年以内である
3-3.入学者のある学校数/全学校数	2校/全校2校	2校/全校2校	2校/全校2校
3-4.学校名	開陽高校, 奄美高校	開陽高校, 奄美高校	開陽高校, 奄美高校
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)	若干名	若干名
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択	×	×	×
3-7.試験内容	面接と作文	面接と作文	面接と作文
3-8.2022年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択	無	無	無
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2022年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入			

Ⅲ 高校入学後の状況

1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択	無	
2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	<input type="checkbox"/>	A.教育課程に位置づけられた日本語授業(学校設定科目や個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施
	<input type="checkbox"/>	B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施
	<input type="checkbox"/>	C.母語(継承語)保持のための授業の実施
	<input type="checkbox"/>	D.担当教員の加配
	<input type="checkbox"/>	E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用
	<input type="checkbox"/>	F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用
	<input type="checkbox"/>	G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用
	<input type="checkbox"/>	H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)
	その他の 施策	
上記に該当 する実施校 の校数等		
補足事項		
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後や長期休業中に教科の補習や日本語の個別指導 ・ 配布プリントにルビをふる ・ 教科によっては個別のテスト問題を使用 ・ ポケットークを購入して対応 	
4.2022年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入	無	
5.2021年度中に、直接来日後による編入学者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入	無	

IV日本国内にある外国学校からの入学について		
	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	△	今後、必要に応じて検討する。
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
3.上記のI II特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在在期間に含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入	含めない	
4.外国学校の中等部の卒業生について、2022年度入試において受験(受験)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」		

V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんだから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

<p>1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受験(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること</p>	<p>高校入試ガイダンスがない。本県では特別枠があると言っているが、実際はこれまで入学例がないということで対応していないので、枠があったも使用されたことがない。</p>
<p>2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など</p>	<p>サッカーやマラソンなどの全国区で活躍している部活動に所属している生徒の中には留学生が存在している。</p>
<p>3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください</p>	<p>外国人児童・生徒を対象に支援を行うNGOなどが存在しないため。それぞれの出身国のコミュニティやモスクや教会などの宗教施設のコミュニティで相談するケースがほとんどだと思われる。</p>
<p>4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。</p>	<p>鹿児島県国際交流協会 (https://www.kiaweb.or.jp/) および鹿児島市国際交流財団 (https://www.kiex.jp/)</p>
<p>5.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致しません。</p>	<p>子どもだけではなく外国人一般の支援を行っているNGOの響 (https://hibiki.school.tn/) および日本語教室を行っているATLAS (http://atlas1998.web.fc2.com/japanese/class.html) がある</p>